



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当:上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-526-5111 (内線1406) FAX.025-526-6114

ホームページ⇒

ふるさと上越 🔍



撮影：小坂恵美さん

「たより」No.267 目次

会員数とふるさと市場報告	1
Jネットの活動とお知らせ	2
とれたて上越	3
・上越の行事・展示会の予定	
レルヒ祭、灯の回廊	
住もっさ上越！お仕事・移住相談会のお知らせ	
・上越、旬の話題	
上越は豪雪	
なんでも上越	5
・飲むかまぼこ「かまナイス」ついに発売!!	
上越のDNA	6
・柳沢謙博士 国立予防衛生研究所元所長	
会員ひろば	7
上越産品販売のお知らせ	8
鯉橋師匠高座予定	8
Jネットからのお知らせとお願い	8

※ホームページ「ふるさと上越ネットワーク」(2020年4月改定)では、「たより」をカラーでご覧いただけます。

会員数と「ふるさと市場」販売報告

- (1) 会員は現在 601 名です。(令和2年度目標 610 名)
- (2) 「ふるさと市場」(12月)の販売状況 合計 547 件 ¥570,617 近年では最高額です。(前年同月 150 件 ¥288,047)

豪雪、お見舞い申し上げます。

故郷上越の皆様へ

昨年末からの数十年来の豪雪は、御地に多大な被害とご不自由をもたらしております。

上越を離れている私達には、コロナ禍もあって、大切な故郷のためにできることは限られておりますが、

皆様が一日でも早く平常の落ち着きを取り戻されますようにと心よりお祈り申し上げます。

ふるさと上越ネットワーク

義援金（大雪災害）ご協力のお願い

上越市は、災害救助法が適用された今回の大雪災害により被災された市内の方々を支援するため、義援金口座を開設しました。ご協力をお願いいたします。

詳細は、上越市HP「上越市令和3年大雪災害義援金」、あるいは、当会HPの同お知らせをご覧ください。
ふるさと上越ネットワーク

Jネットの活動とお知らせ

新年、あけましておめでとうございます。
本年も皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

上越では、昨年末から記録的な大雪が上越を襲っております。一方で、コロナ禍は収まらず、それどころか正月早々に、再度の緊急事態宣言出され、首都圏はじめ各地に広がっております。

なんとも冴えない年明けですが、こんな時こそ、わが「ふるさと上越ネットワーク」は、会員同士が励まし合い、力を合わせて、当会目的である上越の応援と会員の懇親交流を進めていきたいものです。

本年もいろいろと活動を企画し実施してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(伊藤利彦 記)

1. 令和3年2月の東京サロンは休会。

2月も東京サロンは、コロナ禍を巡る事情に鑑み、休会します。

なお、今後のオンライン開催を含めてのサロン開催につきましては、「たより」やHPをご参照いただくか、あるいは事務局にてお問合せください。

2. 有志によるオンラインでの新年会 ※同封のチラシをご覧ください。

リアルなサロンは無理としても、オンラインにての新年会を次の要領にて、開催いたします。但し、会員全員がオンライン会合機能を有してはおりませんので、この新年会は、当会公式のものではなく、有志による新年会です。

日時：令和3年2月11日（木） 15:00 - 17:00

内容：ZOOMを利用したオンライン会合。

近況、消息、ニュースなどの情報交換。一言発言の機会あり。

途中参加や中座も自由。飲食物も自由。

参加者：今回は有志による企画ですので、会員の皆様のみでの参加となります。

参加者数：100名まで（ZOOM機能による）

但し、発言は同時複数発言ができず、1人に限定されるため、グループ分け（ブレイクアウト）をすることもありますので、お含みおきください。

参加方法：参加ご希望の方は、事務局宮里までお申し込み

ください。新年会のURLをお届します。

申込先 k.miyazato@araipt.co.jp

なお、皆様のメールアドレスの使用は、本件限定として、本件終了後は破棄いたします



3. ホームページ（HP）が好評。

会員は、上越タイムス電子版もご覧いただけます。

JネットHPは、「上越のカラーフルで大きな写真、Jネットからのお知らせや「たより（カラー版）」、関連サイトへのリンクなどが見やすく好評です。

前月12月より、上越の写真も増やしました。ぜひとも、ネットにて、「ふるさと上越ネットワーク」、または <https://joetsu.gr.jp/> を検索して、ご覧ください。

- ① 会員メニューをクリックしてご覧ください。
- ② 会員閲覧用のIDおよびパスワードは次の通りです。

① HP右肩「Jネット会員の方 会員メニュー」をクリック
② 「ログインはこちら」をクリックし 上越タイムス社HPへ
③ 下記のID・PSWにて ログインしてください

② 会員専用コンテンツ (要ログイン)

③

① Jネット会員の方
会員メニュー
新規入会

とれたて上越

1. 上越の行事・展示会の予定

(1) レルヒ祭 — 日本スキー発祥 110 周年

日本に初めてスキー術を伝えた、レルヒ少佐の遺徳を顕彰する「レルヒ祭」が開催されます。毎年2月に金谷山をメイン会場に開催されてきましたが、今回は、コロナ禍のため、オンラインを含めての開催です。

期間：2021年2月6日～7日

【6日】19:00～（予定）

花火の打ち上げ（市内の街中及びオンラインで観賞）

【7日】9:20～15:00

ウイルス感染対策を取った上での、上越市民に楽しんでいただくスノーアクティビティ

お問合せ：レルヒ祭実行委員会事務局 TEL 025-543-2777(上越コンベンション協会)

または、上越市観光交流推進課 TEL 025-526-5111(上越市役所)



(2) 灯の回廊

安塚区・大島区・浦川原区・牧区・高士地区・名立区の沿道に約10万本の灯がともるイベントです。子どもからお年寄りまで、住民総出でキャンドルを作り上げます。冷たい雪が温かな世界に変わります。

今回は、詳細は検討中ですが、次の通り、開催の予定です。

開催日：2021年2月27日（土）。

沿道でのライトアップ、ならびに雪の茶屋を設営。

お問合せ：上越市観光交流推進課 TEL 025-526-5111（上越市役所）



「幻の回廊（2018年撮影）」

(3) 住もっさ上越！お仕事・移住相談会のお知らせ

上越での暮らしの魅力や情報をお伝えする「上越市お仕事&ふるさと暮らし相談セミナー」（住もっさ上越）は、毎年2月に「ふるさと回帰支援センター」（東京交通会館4F）にて開催されてきましたが、令和2年度は次のように開催されます。

日時：令和3年2月21日（日）開催形態：オンラインにて開催

主催：上越市自治・市民環境部地域振興課 TEL 025-526-5111（上越市役所）

詳細は、同封のチラシにてお知らせいたします。

ぜひとも、Uターンや地方移住を検討する皆さんにお伝えください。

1. 上越の旬の話題

上越は、十数年来の豪雪

年明けの1月、上越高田は、豪雪で全国的に報道されました。本格的な雪シーズンを前に、年末から降り始め、特に1月7日から11日にかけて記録的な降雪です。8日午前1時までの24時間に103cm、10日2時までの48時間で160cmの降雪量というのは、いずれも1998年の統計開始以来最大で、これは実に35年ぶりだそうです。

それ以降も、除雪の妨げにならないよう、市民は車での外出を控えています。車が出せない家も多く、食料やガソリンを徒歩で買いに行く姿が見受けられました。一時は、14幹線と2239生活路線が走行不能となりましたが、早朝から深夜まで除雪活動が続き、1/19時点では、ほぼ解消されました。不休の除雪業者さんも多かったと聞いています。かなりの馬力で作業しても運べる雪には限界があり、本当にたくさん降ったんだなあとあらためて感じました。



1/16 - 17の大学共通テストは滞りなく行われました。新聞も来ない日が多く、学校も1/19まで休校、高田地区のごみ収集も1/19まで中止でした。

雁木の良さを見直しつつも、古い家屋の倒壊の可能性にも危険を感じながら、町内や近所で団結して除雪に励んだ1週間でした。それでも1/17時点で300棟以上の建物被害、事故による死傷者も多数報告されています。



私は高田駅の近くに住んでいますので、写真は徒歩圏のみに限られますが、いつになく沢山の写真を撮ったと思います。たまの晴れ間には、美しい光景も見ることができました。

(高田にて 小坂恵美 記)

なんでも上越

飲むかまぼこ「かまナイス」、ついに発売!!

口福の店 魚住かまぼこ店 店主 田村 博

昨年12月15日。日本のかまぼこ史上に、新しいページが刻まれました。「飲むかまぼこ」の発売です。

これに先立ち14日には、同品のお披露目会と試食会が行われ、その様子がNHKの全国ニュースに、また、首都圏の電車内でも流されました。この反響は大変なものがあり、魚住の社員は、全各地からの電話やメールの対応に追われました。

県内唯一軒、『完全石臼ねり』を守り続ける『宝物・魚住』を何としても残そうと、平成26年春に、借金ごと事業承継（継業）してから間もなくのことでした。年輩のお客さんから「魚住のかまぼこは、固めで食感も最高。でも、年を取ってくると、かまなくてもいいかまぼこが欲しくなる…」と、要望がありました。

その日から、「飲むかまぼこ」との戦いが始まりました。そして、苦節6年半。小さな小さなかまぼこ屋が、大きな大きな夢をついに実現しました。「かまない」と「ナイス」を掛け合わせ、「かまナイス」と命名。たんぱく質と雪室野菜がコラボした、まさに夢のようなかまぼこが完成。もちろん、全国初。歴史に残る新商品の発売です。

四種類の「雪室野菜」かぼちゃ・じゃがいも・たまねぎ・にんじんがセットになっている一般用のほか、家庭用・業務用の1kg～3kg入りの割安パックもあります（要予約）。この割安パックは、四つの野菜の中から好きなものを選ぶことができ、老人福祉施設や保育園などにも最適です。前述の放映効果もあり、各地の施設などから注文が相次いであります。

この「かまナイス」は、レンジでチンしてそのまま飲む…のほか、パスタやご飯などに直接かける。お皿に入れ、醤油やソースの代わりに、野菜や揚げ物につけるなど、新しい試みで料理の世界が格段に広がります。



ちなみに小生は、毎朝、生卵をかける代わりに、レンジでチンした熱々の「かまナイス」を炊きたてご飯にかけ、大満足しています。

なお、今、上越高校・上越教育大学の学生の皆さんなどが、「かまナイス」のレシピ集を作成中です。3月末ごろ、写真入りの楽しいレシピ集の発表会を行う予定です。

いずれにしても、これからは、毎朝「かまナイス」を一つ『ごっくん』。子どもからお年寄りまで、一日の健康パワーがわいてきます。

コロナに負けなためにも、「かまナイス」を是非、ぜひ！！

お申し込みは、同封のふるさと市場取次商品一覧、あるいは同社 HP よりお願いします。

上越の DNA

柳沢謙 博士 国立予防衛生研究所（現・国立感染症研究所）元所長



凍結および乾燥
研究会誌より

新型コロナウイルスの感染拡大は収まる気配がない。それどころか、年明け早々には、再度の緊急事態宣言が首都圏はじめ日本各地に発出されるほどますます広がっている。この泥沼から抜け出すためにも、ワクチンの開発と接種こそが緊切の急務である。

今から70年ほど前は、結核は、死亡原因第1位で不治の死の病だった。それが、ツベリクリンとBCGワクチンの普及、ならびに特効薬のカナマイシンによって、結核は克服できるようになった。そのBCGワクチンについて、世界での標準品を作り、注射による接種方法を開発し、また、カナマイシンの発見に貢献された人が、上越出身の柳沢謙博士です。結核から全世界の人々を救った大恩人といっても過言ではありません。

柳沢謙博士は、1907年（明治40年）、津有村四ヶ所（現・上越市四ヶ所）の保坂家に生まれる。「謙」という名は、誕生日が謙信公三百年祭の日であったことに依る。男子末子でもあり、生後間もなく、同じ四ヶ所の柳沢医院の養子となる。戸野目小、高田中学に進学。同中学1年のとき、実母が結核で亡くなる。

新潟高校を経て、東京帝国大学医学部に進み、それからは、実母を奪った結核の研究を行う。卒業後は、同大学伝染病研究所（後に国立予防衛生研究所。現・国立感染症研究所）にて、本格的な研究に取り組み、結核予防において、前述の大偉業達成となった。

ご存じの通り、結核予防としては、ツベリクリン検査で判明した陰性と偽陽性者に対して、BCGワクチンを接種し、結核の抗体をつくる。

そのBCGワクチンは、元々、フランスのパスツール研究所にて菌が発見され、1921年に初めて新生児に投与。1924年には日本にも菌がもたらされた。

柳沢博士が行ったことは、初めてBCGワクチンの注射を開発したこと（柳沢博士講演録より）、および、乾燥ワクチンを開発し、ワクチンの効力を長期間持続させたことであり、これは、結核予防を広く推進するうえで画期的なこととなった。これらの研究開発の大半は博士がほぼ一人で行ったという。

1965年、日本のそのBCGワクチンが世界保健機構（WHO）により国際参照品に採用され、全世界で使用されるようになった。加えて、博士は、結核の特効薬カナマイシンの発見にも大きく寄与された（同講演録より）。さらには、博士の研究は結核のみに留まらず、ハンセン病やポリオの研究にも取り組み、その成果は高く評価されている。

1970年に、国立予防衛生研究所（予衛研）の所長に就任し、我が国の予防医学体制の確立にも大きく貢献された。世界保健機構（WHO）への日本政府代表をも務め、こうしたことから、1977年に勲二等旭日重光章を受章された。1982年6月、心臓発作によりご逝去。享年75才。

わが上越においても、1941年（昭16）、博士自身の手によって、戸野目小学校で結核ワクチン接種が行われた。これは日本で初めての接種であった。1949年（昭24）以降は、博士をはじめ予衛研の人たちが上越各地でツベリクリン検査とBCG注射を実施、その後20年近く続いた。1977年に博士は予衛研の所長を退任すると、その翌年から、博士お一人で、上越の小学校や中学校を回り、接種を続けられた。そこには、博士の郷土への強い思いがある。

それにしても、母の病に遭ったことから結核の研究に生涯を貫いた一生であった。東京帝大医学部を出ても、花形の治療医学に進むことなく、ひたすら、予防医学という地味な研究に取り組み、結果としては、我が国の予防医学に偉大なる足跡を残されたのである。

そのひたむきさの中に、豪雪の下、我慢と粘りの上越人の姿が見える。同郷の誇るべき大偉人である。

（伊藤利彦 記）

雪解けある限り

この冬、故郷は数十年ぶりの豪雪に、息も絶え絶え…。

届く映像に驚くばかりです。雪國故郷の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

東京に住む私どもにとっても、コロナ禍で応援にも行けず、気を揉む日々が続いております。

こんな折、僭越ながら、饒村（におむら）義治氏（大正5年新井市生まれ、元高田高校教諭）の句集「楓石（ふうせき）」（朝日・毎日俳壇入選句）から、雪を詠んだ多くの俳句の中からごく一部をご紹介します。（あるいは、お叱りを受けるのも覚悟で。）

雪国を讃え雪国より知らず
大雪の昔の話怖ろしく
雪女一本道を立ち塞ぐ

越に住み雪は漕ぐもの泳ぐもの
雪卸終へし安堵の梁見上ぐ
故郷をいま雪沓で踏みしめる

雪国を捨てず雪解けある限り

（祖父江ひろみ 記）



上越産品販売のお知らせ

- Jネットふるさと市場に「取次販売商品一覧」を同封します。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧（A3版1枚）を同封にてお届けします。会員は送料無料で取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

- 上越特産市場

上越市運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。「上越特産市場 <https://www.joetsu-tokusan.jp/login/input.php>」からご覧いただき、お申込み下さい。

- 「新潟・上越妙高うまさ直送！雪国マルシェ」

恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は、下記にて予定しています。

日時 2月23日（土）、同24日（日）

3月27日（土）、同28日（日）

会場 有楽町 交通会館1F。

開業時間 11：30 - 17：30

- 常設店舗 「雪国商店」

場所 有楽町交通会館1F。

営業時間 11：00 - 19：00 年中無休
（年末年始は休業）

ネットで「雪国商店」を検索してご覧ください。

☆お問い合わせ先：JCV 東京情報センター 03（5218）7730

瀧川鯉橋師匠 ◎出演予定◎

鯉橋：03-3845-1202

◇ 1/31(日) ライブ配信の落語会(ユーチューブによる生配信です。梶原いろは亭から) 時間: 午後2時~4時ごろ
木戸銭: 無料。 <https://youtu.be/F2d3YrzuwUE> にアクセスし、チャンネル登録をしてご覧ください。

出演: 鯉橋、小助六、夢丸

お問合せ: 03-6908-4742(株式会社 AI 演芸部)

◇ 2/22(月) お江戸両国亭「七人の侍~若手真打勉強会~」

時間: 午後2時~4時半ごろ。

木戸銭: 1500円

出演: 円福、枝太郎、鯉橋、小助六、鳳志、貞寿

会場: お江戸両国亭(両国4-30-4)

お問合せは上野広小路亭(03 - 3833 - 1789)まで。

◇ 3/23(火) 銀座イタリー亭「落語&賞味会」
時間: 午後6時半から落語、7時10分頃からお食事。

木戸銭: 8800円(フルコース料理、ワイン代含む)

出演: 鯉橋

会場: 銀座イタリー亭(銀座1-6-8)

お問合せ: 03-3564-2371(イタリー亭)

◇ 3/24(水) お江戸日本橋亭、鯉橋の会
時間: 午後6時~8時半ごろ。

木戸銭: 2000円(前売・予約1500円)

出演: 鯉橋(2席)、ほか。

会場: お江戸日本橋亭(三越前)

お問合せ: 03-5909-3080(落語芸術協会)

●●●●●●●●●● Jネットからのお知らせとお願い ●●●●●●●●●●

記事、寄稿、投稿、メッセージをお願いします。

Jネットは上越大好き人の集まりで、交流を通じて、上越を応援しています。その情報ツールが、「たより」やHPです。

会員の皆様には、ぜひとも、上越の魅力、上越に役立つようなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事（1200字程度まで）と写真を送信いただければ幸いです。皆さまの貴重なお話は、読む人を元気にします。

また、新たに俳句、短歌や川柳、写真の募集も歓迎します。「たより」やHPに掲載します。温かい心、ほっと一息、ピリリ、にやりなど、彩りをお届けください。

送信先: k.miyazato@araip.co.jp

コロナ禍の折、皆様には、くれぐれもご健康にご留意され、お過ごしください。

◎ 次号「たより」は令和3年3月10日の発行（2、3月合併号）です。